

きりん組だより

R6・5・22 (水) 佐藤菜摘

今月のねらいは、《春の自然に触れ、身近な生き物や植物に関心を持ち、考えたり調べたりして、興味を深める》でした。
春の自然に触れる中で、子ども達のやりとりを楽しむ様子をご覧ください。

4月から絆の茂里や園庭、お寺など、さまざまな場所に足を運び、春探しを満喫しています。「あ！あそこいっぱいお花咲いてるよ！」と、みんな花を摘むことに夢中です。

見て！この花かわいいよね。図鑑で調べたら、ハルジオンというみたい。

みんな～、ここにお花いっぱい咲いてるよ！



どんなお花が咲いてるかな？
わくわく・・・



～～、そうなんだ！
かわいいよね。
恭一郎くんの花と私の花、ちょっと色が違うね。でも形は同じだからハルジオンだね。

後日・・・



このお花、何ていうんだろう？



綿毛を見つけると、フ～っと息を吹きかけたくなるのが、子どもの自然の姿です。始めは、フ～っと吹いて種を飛ばすことに夢中だった蓮ちゃんですが、後日、絆の茂里で綿毛を手にとると、「こんな小さい種がいっぱいくっついて、丸い形になってたんだ～！」と、綿毛の仕組みに気づき、発見を喜んでいました。

名前の知らない花を見つけると、図鑑を開いて調べようとします。それが何であるか分かると、嬉しそうに保育士や友達に教えてくれます。探求心が満たされる喜びが「もっと知りたい」という次の意欲につながっていきます。